

秋の叙勲 おめでとうございます



旭日双光章 渡邊 義則さん (75)

元 安芸高田市議会議員

昭和63年に高宮町議会初当選以降、高宮町議会議員、安芸高田市議会議員として18年の永きにわたり在職し、高宮町・安芸高田市の発展に貢献されました。



瑞宝単光章 上本 昭二さん (70)

元 安芸高田市消防団副団長

昭和42年に吉田町消防団に入団以降、40年もの永きにわたり現場の第一線において消防活動に尽力されました。

総務大臣表彰を受賞されました



増田 亮荘さん (80)

安芸高田市明るい選挙推進協議会 会長

平成10年に美土里町明るい選挙推進協議会会長となられて以降、17年の永きにわたり選挙の投票率向上及び選挙制度の市民への周知に尽力されています。

総務大臣より感謝状が贈られました



岸野 友夫さん (81)

安芸高田市選挙管理委員会委員長

平成11年から高宮町選挙管理委員会委員になられて以降、16年の永きにわたり選挙の適正な管理執行と明るい選挙の推進に努められています。

国土交通省より感謝状が贈呈されました



安芸高田市商工会 女性部八千代支部

市商工会女性部八千代支部では、国道54号の上根バイパス内にあるパーキングエリア(八千代町)の清掃を25年ほど前から定期的に行っています。活動期間とその継続性において顕著なものがあり、道路環境の維持に貢献するなど、多大な業績が認められ、国土交通省より約20年ぶり2回目の感謝状を贈呈されました。

第2回全国小学校ラジオ体操コンクール 銅賞(第3位)受賞



二代目美土里グリーンピース(美土里小学校)

泉川ももか、川手舞香、佐々木心春、増田梨花、岩口怜依、小出玲菜、小丸優月菜、権軒真尋、中迫吹衣、天下菜々美、竹本悠花、増田梨花

※全国各地の小学校から約450チームの応募の中から受賞

民生委員・児童委員が代わりました(任期:平成28年11月30日まで)

藤田 勉さん

担当地区: 甲田町(胡子、末広、上寺、下寺、春日、上組、春日住宅、堂ノ口住宅)

※民生委員・児童委員には、安芸高田市生活指導員も委嘱しています。



民生委員児童委員はあなたの相談相手です

然るが故に……

みなさまこんにちは。獣害対策とジビエ事業に携わっております南澤克彦です。早いもので9か月が過ぎ、おかげさまで家族共々こちらでの生活にも慣れて参りました。着任以来、ジビエ関連では猟師さん・地域振興事業団の方々のご指導の下、シカ・イノシシの解体を行っております。なかなか厳しい作業ですが、普段の生活ではあまり意識することのない「命をいただく」という営みをひしひしと感じながらナイフを握っています。ここに来るまではジビエ肉を食べる機会ほとんどなかったのですが、食べてみると味も濃く、旨味があり、大変美味しいものだと言うことを知りました。また古来から『薬食い』と言って、滋養・保温のため薬代わりにシシ・シカ肉を食べていたようで、最近の研究でもシカ肉は高タンパク低脂質、鉄分やビタミンB群などを多く含んでいることが明らかになり、体に良いものなのだとわかってきました。しかし、シカ肉というイメージもあるようで、敬遠される方も多く……。そこで、多くの方に気軽に食べていただけるよう「ジビエ料理研究会」を立ち上げ、調理方法の研究もはじめました。また皮なめしなど未活用部分の有効利用にも挑戦しています。被害対策の方では狩猟免許など準備が整い、これから猟師さんの後について学んでいくところです。



地域おこし協力隊員リレーコラム vol.5 南澤 克彦さん(産業振興部 地域営農課)



先日は、寄能隊員がビデオ撮影する中、内田隊員・森本隊員と一緒にジビエ肉のポロネーゼ、作りに挑戦しました。

またこれまでの経験を活かして定住パンフレットの製作に携わりました。その中で、安芸高田市で活躍する移住者の先輩方にお話を伺う機会に恵まれ、志を持った熱い方々がたくさんいること、またそれを支援してくださる温かい地元の方々がいることを知り、「良い所に移ってきたなあ」とうれしく思っています。その一方で、プライベートの米作りは雑草だらけ(笑)。集落のみなさんに助けられなんとか精米までこぎつけましたが、改めてその難しさを痛感した1年となりました。地域おこし協力隊は最長任期3年間。その中で地域の力となりながら家族を養っていきける仕事を見つけて、あるいはナリワイを作って定住する、というなかなか難しいミッションを負っています。しっかりとこの地に根を下ろせるよう、引き続き頑張っていきたいと思えます。みなさまご指導・ご鞭撻のほどなにとぞよろしくお願い致します。

違う文化から日本を考える

人権多文化共生推進課 ☎42-15630



割に合わない日本! 前回は台湾でしたが、今回は中国東北部で原稿を書いています。中国東北部から多くの人々が、日本へ実習に来ています。農村を少しまわりましたが、案内してくれた教員さんのお父さんは、「中国の農村もここ数年でとても発展した。そのスピードが速い」と言っていました。熱帯植物を植えた温室もある温泉施設も作られていました。そして、中国にほぼ毎年来ていて、最近感じることは物価高です。街中で昼食を食べて、円安もありますが、吉野屋の牛丼セツトが450円、水餃子が小皿で600円、アンパンが120円でした。日本と変わらない感じですが、日本で稼いで帰れば、大金持ちというのはもう幻想かもしれません。最近、技能実習生の逃亡のニュースが、吉野屋の牛丼セツトが450円、水餃子が小皿で600円、アンパンが120円でした。日本と変わらない感じですが、日本で稼いで帰れば、大金持ちというのはもう幻想かもしれません。最近、技能実習生の逃亡のニュースが、

イラスト: 上水流 久彦 准教授